

研究協力をお願い

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

RS ウイルス感染症の重症化因子に関する研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2014 年 4 月～2017 年 8 月 19 日の期間、当院に RS ウイルス感染症で入院された児

2. 研究目的・方法

RS ウイルスは世界中に分布し、毎年流行するウイルスです。日本では毎年秋から冬にかけて流行し、通常 1～3 月にピークをむかえます。RS ウイルスは、成人に感染した場合は鼻汁や咳嗽といった軽微な症状のみの事が多いですが、2 歳以下の乳幼児に感染すると呼吸障害の原因となり入院管理が必要となることがあります。また、RS ウイルス感染症には特効薬がなく、対症療法が中心となるにもかかわらず、低出生体重児や先天性心疾患、染色体異常の児では重篤化しやすいため、同児では RS ウイルスの予防薬であるパリミズマブの予防接種が保険適応として認められています。通常、その接種開始時期は流行期に合わせて 10 月頃からとされています。

2017 年夏季は RS ウイルス感染症による入院患者が例年に比較して多く、入院期間および酸素投与期間も冬季に比して長期化しており、過年度までとは異なる様相を呈しています。通常、その接種開始時期は流行期に合わせて 10 月頃からとされています。

そこで今回、2014 年から 2017 年にかけて RS ウイルス感染症で入院した患者を対象に、季節ごとの入院数や入院した児の重症度について検討を行い、RS ウイルス感染症が重症化する要因に関して調査を行うこととしました。

研究期間

2017 年 9 月 15 日～ 2018 年 3 月 31 日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：年齢、性別、入院日、病歴、治療内容

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学江東豊洲病院（医学部小児科学講座）

研究責任者：森田 孝次

住所：135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38

電話番号：03-6204-6000（代表）